



# 真野中だより

<校訓> 立志力行 協力親和

真野中学校 12月号(462)号

令和元年12月24日発行

教育目標

3つの心

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒の育成

感謝する心

素直な心

努力する心

## 守備範囲半径1mのリトルリーガー ～ 2学期終業式の講話 ～

校長 渡邊 正人

今日で2学期が終了となります。皆さん一人一人、自分を振り返ってどうだったでしょうか。私は、それぞれに大きく成長した学期であったと思います。中でも体育祭、総合郷土発表会、合唱祭では、随所に真野中らしさが出ていて、参加した人の心、見る人の心を温かく成長させてくれました。何よりの成果だったと思っています。

自分ができることを見つけ、それを精一杯頑張ることのできる生徒がたくさん集まる真野中学校をこれからも目指していきたいものです。そこで、少し長くなりますが、ある学習誌に掲載されていた話をします。この学習誌は皆さんの大先輩にあたる真野中の卒業生である金子重之介さんが毎月、真野中の先生方に読んでいただきたいと送ってくださっているものです。その中の「心に残る話」として掲載されていました。紹介します。



「寺田、今日、行くぞ！」僕が監督からそう言われたのは、小学校6年生の夏だった。5年生から、ある少年野球チームに所属していた。それまでは、走れない僕が試合に出たことはなく、その日が記念すべき初公式戦となった。

僕には、生まれつきの脳性マヒという障害があり、ゆっくりならば歩けるものの走れない。けれど、野球が好きだった僕は、野球が好きなら誰でも入れるというこのチームに入団することができた。のちに両親から聞いた話によると、監督が、両親の「息子に野球をやらせてあげたい」という強い気持ちに応え、「私が面倒を見ますから大丈夫です」と引き受けてくれたという。

ついにこの日、9番ライトでの出場。半径1mしか守れないリトルリーガーの誕生だ。僕は緊張していたが、「寺田がエラーしないよう、皆でフォローするから！」との仲間の声に安心し、守備につけた。

そして、試合後半にあの出来事は起きた。それまでは一球もボールが飛んでこなかった。内心飛んでこなくていいと思っていた。“エラーをしてチームに迷惑をかけたくないから、このまま飛んでくるな。”そう思っていた。そんな矢先に左バッターの強烈なライナーが僕を目がけて飛んできたのだ！

キャッチャーのゆうじ君が「寺ちゃん、捕れ～」と叫ぶ。僕はその場で必死に腕を伸ばすと、グローブに吸い込まれるように打球が入ってきた。「捕れた！」。自然とガッツポーズをしていた。この時、僕の目に飛び込んできたのは、僕のすぐ後ろからハイタッチを求めるセンターの矢沢君の笑顔だった。

そして、セカンドの松田君は僕が捕球した後に投げやすい位置に移動していて、ゆうじ君は皆に指示を出していた。そう、打球がライトに飛ぶと分かった瞬間、チーム全員が、僕がエラーしてもミスにならないようにカバーしてくれていたのである。矢沢君とハイタッチをし、ベンチへと戻る途中、皆が列を作り祝福してくれた。障害のある選手が試合に出ることは難しい。だが不可能ではなかった。チーム全員に助けってもらえば、不可能なんてないのだと学んだ6年生の夏だった。

障害があると何かに挑戦する時、自分がいると迷惑になってしまうのでは？助けがないとできないことが多いから不可能じゃないか？と一歩を踏み出せない時があると思う。けれど、僕はこの経験から強く思う。一生懸命やればきっと周りが助けてくれる。だからまず、第一歩はしっかり自分で踏み出そうと…。

どうでしょう皆さん、一生懸命何かに挑戦し、頑張る人がいる。その頑張っている人を一生懸命、笑顔で応援する周囲の仲間たちがいる。2学期、真野中学校でもそうした姿はさまざまな行事や日々の生活の中で随所に見ることができました。こうした周囲の温かな支援があれば、何かを始めようとする決断の1歩も容易に踏み出せるのではないのでしょうか。令和元年もあと数日となりました。それぞれの今日までの頑張りをしっかりと振り返り、令和2年も真野中みんな支え合い、互いの頑張りに期待をしながら一歩ずつ歩みを進めていこうではないですか。



出典 心の生涯学習誌「れいろう」平成27年10月号「心に残る話」より

## 令和2年度 真野中学校生徒会本部役員の決意

12月3日(火)に立会演説会、4日(水)に生徒会役員選挙が行われました。投票の結果、信任多数で立候補した4名全員が当選となりました。来年度の生徒会役員が決定し、11日(水)の生徒朝会では、校長先生から認証書を受け取り、一人一人全校生徒に決意を述べました。

今後は生徒会本部のメンバーや各専門委員会の正副委員長の委嘱をし、来年度の生徒会組織がつくられていきます。新役員となる2年生のこれからの活躍が楽しみです。



### 日々成長し続ける学校

生徒会長 2B A

私の公約は、「日々成長し続ける学校」です。全校生徒が学校生活を充実させるために何事にも積極的に挑戦できる雰囲気を作っていきたいと思っています。

そのために、生徒一人一人の意見を聞き、積極的に取り入れ、生徒全員で作り上げる生徒会にしたいです。また、生徒会をもっと身近なものに感じてもらうため、全校が興味をもてるような行事を増やします。各委員会とも協力して全校の繋がりを深めていきたいです。クラスでの掲示や給食時の広報活動などを通して生徒会の思いや活動主旨を生徒のみなさんと共有したいです。

真野中の良い伝統を守りつつ、新しいことにも挑戦し、生徒全員が自信をもち、真野中全校がいきいきとした笑顔で過ごせるよう全力で活動していきます。一年間よろしくをお願いします。

### 新生徒会役員としての抱負

副会長 2A B

新生徒会副会長になりましたBです。新生徒会役員としての抱負は二つあります。

一つ目は、新しい生徒会役員のみなさんと協力し合って今よりもさらによりよい真野中学校にすることです。今の真野中学校はあいさつがあふれています。だから、継続していけるように話し合ったり、さらに良くするために何をするかしっかりまとめたいです。

二つ目は、先輩方が行ってきたことを引き継げるように頑張ることです。ここまでつないできたことを、次につなげられるようにしっかり計画を立てて実行したいと思います。

今まで事務局として頑張ってきたことを、さらに発揮できるように頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



### よりよい真野中にするために

副会長 2B C

この度生徒会副会長になりましたCです。私は全校のみなさんが何事にも積極的に取り組み、楽しい学校生活を送ってもらいたいという思いから「自ら考え共に行動できる学校」という公約を立てました。一人一人が真野中学校をどうしていきたいか考え、仲間と共にたくさんのことを学びあえる学校を目指しています。このような学校を実現できるよう、まずは私が副会長としてふさわしい行動をしなくてはなりません。生徒一人一人の意見に寄り添い、仲間への思いやり、感謝をすることができる副会長になりたいです。

また、全校のみなさんが楽しめる行事も企画していきたいと考えています。自分だからこそできることを考え、「真野中の生徒でよかった」と思ってもらえる学校を必ず作ります。たくさんの方から信頼してもらえるような副会長になれるよう精一杯頑張ります。

### 責任

応援団長 2A D

新応援団長になりましたDです。公約通り一人一人の個性を咲かせたいと思います。みんなの意見を取り入れてよりよい応援団活動にしていきます。

先輩を見習って、自分も後輩から尊敬されるかっこいい先輩になりたいです。

球技大会や激励会など応援団が主催となる行事は、みんなが楽しめる企画を準備して他学年との交流を目的に頑張っていきたいとです。何事にも時間厳守で大きな声で取り組みたいです。

自分一人だけではできないことがあるかもしれませんが、みなさんの協力をいただければ可能性は無限に広がると信じています。

みなさんの期待を裏切らないように責任をもって行動に移したいと思います。

全力を尽くして頑張ります。



皆さん、良いお年をお迎えください。令和2年も真野中学校は生徒・教職員一丸で頑張ります。